

平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ACKグループ

コード番号 2498 URL <http://www.ack-g.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 野崎 秀則

問合せ先責任者 (役職名) 取締役統括本部長

(氏名) 森田 信彦

TEL 03-6311-6641

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	24,626	18.1	324	—	342	—	218	—
25年9月期第3四半期	20,858	2.4	△699	—	△510	—	△197	—

(注) 包括利益 26年9月期第3四半期 260百万円 (—%) 25年9月期第3四半期 △164百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	42.54	—
25年9月期第3四半期	△38.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年9月期第3四半期	23,999	5,987	24.9	1,167.74
25年9月期	20,189	5,765	28.6	1,124.47

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 5,987百万円 25年9月期 5,765百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	7.50	7.50
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,200	10.7	710	41.1	670	6.1	510	△2.8	99.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) 株式会社オリエンタルコンサルタンツグ  
ローバル、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年9月期3Q	5,840,420 株	25年9月期	5,840,420 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年9月期3Q	713,326 株	25年9月期	713,326 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期3Q	5,127,094 株	25年9月期3Q	5,110,457 株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策及び、日本銀行による金融緩和政策や各種経済政策を受けて、企業収益の向上や雇用情勢の良化を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、消費税増税による個人消費への影響や、新興国経済の景気減速等の影響等、景気の先行きは依然不透明な状況にあります。

このような環境のなか、当社グループでは、国内分野におきましては、震災復興や国土強靱化などによる事業の増加や、公共・民間ともに防災や再生可能エネルギー利用に資するサービスへの需要の高まりもあり、当第3四半期連結累計期間における国内分野の受注高は、194億28百万円(前年同四半期比6.4%増)となりました。

国内公共分野におきましては、震災復興関連の調査・設計業務が引き続き堅調に推移するとともに、国土強靱化に伴う防災・減災やインフラ保全に対する需要の高まりにより、橋梁・道路の耐震調査や点検業務ならびに補修設計にかかわる受注が増大いたしました。また、官民連携による太陽光発電の整備等、再生可能エネルギー導入による地域活性化の検討、提案を実施してまいりました。

国内民間分野におきましては、都心再開発に係るビル解体工事や土壌汚染調査の堅調な受注に加え、工場・総合施設、集合住宅の耐震診断・補強設計や構造物点検業務の受注が好調となりました。

海外分野におきましては、需要の高い開発途上国でのインフラ整備を中心とした事業が堅調に推移したほか、東南アジア・アフリカ地域を中心に鉄道交通・道路分野において受注を拡大し、当第3四半期連結累計期間における海外分野の受注高は、108億99百万円(前年同四半期比90.7%増)となっております。

売上高につきましては、当社グループは売上高の割合が3月以降に偏る季節変動特性を有しております。一方で、販売費及び一般管理費は年間を通じて平均的に発生するため、第3四半期連結累計期間までは営業損失を計上する傾向にありますが、当第3四半期連結累計期間につきましては、前期からの繰越受注残高増加に対応するべく生産体制の強化に努めた結果、第4四半期に完了を見込んでおりました業務案件の一部が前倒しで完了となりましたため、売上高が前年同四半期に比して大幅に増加いたしました。また、これに伴い営業利益、経常利益及び四半期純利益が増加いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は303億28百万円(前年同四半期比26.5%増)、売上高は246億26百万円(前年同四半期比18.1%増)、営業利益は3億24百万円(前年同四半期は6億99百万円の損失)、経常利益は3億42百万円(前年同四半期は5億10百万円の損失)となりました。また、固定資産の譲渡に伴い特別利益として固定資産売却益1億35百万円を計上したことなどに伴い、四半期純利益は2億18百万円(前年同四半期は1億97百万円の損失)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (インフラ・マネジメントサービス事業)

インフラ・マネジメントサービス事業の売上高は、第4四半期に完了を見込んでおりました業務案件の一部が第3四半期以前に完了となりましたため、売上高は194億85百万円(前年同四半期比18.9%増)となりました。これに伴い損益面につきましては、営業利益は2億60百万円(前年同四半期は6億61百万円の損失)となっております。

#### (環境マネジメント事業)

環境マネジメント事業の売上高は、44億18百万円(前年同四半期比13.0%増)となりました。営業損失は季節変動特性の要因により33百万円(前年同四半期は51百万円の損失)となっております。

#### (その他事業)

その他事業の売上高は、11億98百万円(前年同四半期比1.3%増)となりました。営業利益は74百万円(前年同四半期は16百万円の損失)となっております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資金調達の状況)

当社グループの業務の工期は3月に集中しており、例年納品後の4月、5月に売上代金の回収が集中するため、3月まで運転資金の需要が大きく、借入残高も3月まで段階的に増加する傾向にあります。この資金需要に備えるためコミットメント・ライン契約並びに当座借越契約を締結しているほか、私募債を発行しております。

#### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は239億99百万円と、前連結会計年度末に比べ38億10百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加25億3百万円及び、未成業務支出金の増加23億52百万円によるものであります。

(負債の部)

前連結会計年度末に比べ35億88百万円増加し、180億12百万円となりました。これは主に、未成業務受入金の増加46億3百万円によるものであります。

(純資産の部)

前連結会計年度末に比べ2億21百万円増加し、59億87百万円となりました。これは当第3四半期連結累計期間において四半期純利益を計上し、利益剰余金が増加したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績につきましては、概ね予想通りに推移しております。通期の見通しにつきましては、平成25年11月14日に発表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間において株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバルを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,256,681	4,760,670
受取手形及び売掛金	6,013,909	4,290,108
商品	48,944	44,131
未成業務支出金	5,902,133	8,254,604
繰延税金資産	635,313	781,837
その他	849,634	1,121,279
貸倒引当金	△33,026	△23,603
流動資産合計	15,673,590	19,229,028
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	830,428	801,128
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	383,162	423,316
土地	976,522	879,733
その他（純額）	71,243	109,577
有形固定資産合計	2,261,356	2,213,755
無形固定資産		
ソフトウェア	180,527	178,357
のれん	531,089	437,377
その他	42,317	71,234
無形固定資産合計	753,934	686,969
投資その他の資産		
投資有価証券	324,576	637,034
長期貸付金	11,263	128,237
差入保証金	821,499	880,230
繰延税金資産	145,187	43,388
破産更生債権等	56,753	70,824
その他	188,819	175,734
貸倒引当金	△56,273	△70,373
投資その他の資産合計	1,491,826	1,865,076
固定資産合計	4,507,117	4,765,801
繰延資産		
社債発行費	8,544	4,554
繰延資産合計	8,544	4,554
資産合計	20,189,251	23,999,384

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,251,812	1,604,846
短期借入金	646,625	152,040
1年内償還予定の社債	340,000	340,000
未払法人税等	326,322	115,381
未成業務受入金	6,402,031	11,005,276
賞与引当金	563,881	938,972
受注損失引当金	597,690	596,620
その他	1,854,547	1,921,232
流動負債合計	12,982,911	16,674,368
固定負債		
社債	510,000	340,000
退職給付引当金	217,291	99,815
役員退職慰労引当金	231,401	264,593
負ののれん	110,880	55,440
繰延税金負債	301,447	478,491
その他	70,045	99,567
固定負債合計	1,441,066	1,337,909
負債合計	14,423,977	18,012,277
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	503,062	503,062
資本剰余金	747,953	747,953
利益剰余金	4,710,223	4,889,852
自己株式	△272,454	△272,454
株主資本合計	5,688,785	5,868,413
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	76,488	118,693
その他の包括利益累計額合計	76,488	118,693
純資産合計	5,765,273	5,987,106
負債純資産合計	20,189,251	23,999,384

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	20,858,206	24,626,240
売上原価	16,302,186	18,786,049
売上総利益	4,556,019	5,840,190
販売費及び一般管理費	5,255,092	5,515,201
営業利益又は営業損失(△)	△699,073	324,989
営業外収益		
受取利息	2,034	3,284
受取配当金	6,481	5,534
保険配当金	25,754	22,996
為替差益	158,595	1,712
負ののれん償却額	55,440	55,440
その他	28,995	20,152
営業外収益合計	277,301	109,122
営業外費用		
支払利息	29,075	24,318
支払手数料	4,198	7,286
持分法による投資損失	32,398	39,060
その他	22,882	20,498
営業外費用合計	88,555	91,163
経常利益又は経常損失(△)	△510,327	342,947
特別利益		
固定資産売却益	—	135,435
負ののれん発生益	194,519	—
特別利益合計	194,519	135,435
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△315,807	478,383
法人税、住民税及び事業税	102,071	147,380
法人税等調整額	△205,883	112,919
法人税等合計	△103,811	260,300
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△211,995	218,082
少数株主損失(△)	△14,490	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△197,504	218,082



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△211,995	218,082
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47,688	42,204
その他の包括利益合計	47,688	42,204
四半期包括利益	△164,306	260,287
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△149,816	260,287
少数株主に係る四半期包括利益	△14,490	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	インフラ・ マネジメン トサービス	環境 マネジメン ト	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,319,538	3,786,465	752,202	20,858,206	—	20,858,206
セグメント間の内部売上高 又は振替高	62,776	124,958	431,188	618,923	△618,923	—
計	16,382,314	3,911,424	1,183,391	21,477,130	△618,923	20,858,206
セグメント損失(△)	△661,601	△51,584	△16,767	△729,953	30,880	△699,073

(注) セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△729,953
セグメント間取引消去	313,615
全社費用	△282,734
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△699,073

(注) 全社費用は報告セグメントに帰属しない費用であり、内部利益控除後の当社の一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当連結会計年度において、インフラ・マネジメントサービス事業において194,519千円の負ののれん発生益を計上しております。これは、連結子会社株式を追加取得したことによるものであります。

4. 地域に関する情報

売上高

(単位:千円)

日本	アジア	中近東	その他	計
13,469,857	4,208,416	1,531,442	1,648,490	20,858,206

(注) 売上高は業務の対象国を基礎とし、地理的近接度により国又は地域に分類しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	インフラ・ マネジメント サービス	環境 マネジメント	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,477,121	4,346,410	802,708	24,626,240	—	24,626,240
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,975	72,012	395,573	475,560	△475,560	—
計	19,485,096	4,418,422	1,198,282	25,101,800	△475,560	24,626,240
セグメント利益又は セグメント損失(△)	260,934	△33,978	74,517	301,473	23,515	324,989

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	301,473
セグメント間取引消去	311,520
全社費用	△288,004
四半期連結損益計算書の営業利益	324,989

(注) 全社費用は報告セグメントに帰属しない費用であり、内部利益控除後の当社の一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 地域に関する情報

売上高

(単位：千円)

日本	アジア	中近東	その他	計
17,361,590	4,445,094	1,353,529	1,466,025	24,626,240

(注) 売上高は業務の対象国を基礎とし、地理的近接度により国又は地域に分類しております。